

火の用心

～ 狭山市消防団通信 ～

狭山市消防団広報誌
平成22年3月10日発行

発行：狭山市消防団
編集：狭山市消防団広報担当

ご挨拶



狭山市消防団長 伊藤 隆弘

狭山市消防団は、昭和30年に発足し、現在292名（定数333名）で構成されています。私たちの活動は、火災発生時における消火活動、災害発生時における警戒巡視、避難誘導の他平常時には各種訓練や警戒、防災指導や予防啓発など多岐に渡ります。

しかしながら近年の社会環境の変化に伴い、団員の確保・充足が難しく、地域防災力の低下が懸念されている状況です。今こそ市民の皆様到我々消防団の基本理念である

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を共有して頂きたく、この度消防団をより多くの市民の皆様にご理解頂く試みの一つとして、消防団の広報誌「火の用心～狭山市消防団通信～」を発行することとなりました。先輩から受け継がれてきたこの郷土を、そして市民の安全・安心のために、より一層の組織の充実・強化を図り、魅力ある消防団を目指し精進していきたくと考えておりますので、皆様のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。



平成21年11月28日 特別点検時の一斉放水



狭山市長 仲川 幸成

ここに消防団広報誌が創刊の運びとなりましたことはご同慶に堪えません。伊藤消防団長を始め消防団員は、生業を持ちながらも「みずからの地域はみずから守る」という崇高な郷土愛

の精神に基づき、地域の安全・安心の確保に大きく貢献し、災害対応はもとより地域コミュニティの維持や振興にも大きな役割を果たしておりますが、このたびの広報誌の発行を契機として、昼夜を問わず活動している消防団員の姿を多くの市民の皆様にお知らせできるものと期待しております。地域の実情に精通した消防団の重要性をご理解いただき、今後とも、消防団へのご支援ご協力を心からお願い申し上げます。



狭山市消防長 安永 和郎

狭山市消防団広報誌の創刊おめでとうございます。狭山市消防団は、伊藤消防団長を中心に、地域の安全確保のために献身的にご尽力いただいていることに感謝申し上げます。このたび、

広報誌を発行されたことで、団員相互の連携がより一層深まるとともに、地域の皆様と消防団の協働体制が強化されるものと心より期待しております。消防本部といたしましても、消防防災体制の充実強化に向け、消防団の皆様とより密接な連携体制を確立できるよう努めてまいります。狭山市消防団の益々のご発展と団員各位のご活躍を祈念申し上げます。

入 団 式



平成21年4月5日(日)に平成21年度狭山市消防団入団式が消防署4階講堂にて行われました。

各分団から今年度新規入団者17名、団長、副団長、正副分団長のほか消防署員をはじめとした関連団体の方々も出席し、厳かな雰囲気の中挙行了しました。

新入団員は団長より辞令交付を受け、狭山市民の身体・生命・財産を守るという崇高な使命を改めて確認し、引き締まった表情でそれぞれの分団に分けられました。



県 外 視 察

7月5、6日消防団幹部による県外研修が行われました。研修先は新潟県長岡市。1日目は長岡市消防本部にて2004年に起きた新潟県中越地震を体験した、長岡市消防団中村静生副団長及び同平沢一秀分団長から当時の被災の様子やそのとき消防団はどのような活動をしたのか等の講演を頂きました。2日目は旧山古志村(現長岡市山古志地区)を視察。震災から約5年が経過しており復興はめざましいものの、随所に当時を思わせる爪痕があり、地震の凄まじさと恐ろしさを痛感しました。今回の県外研修は、大きな災害を経験した現役消防団員の生の声を聞くことができ、様々な情報を得る事が出来た有意義な研修となりました。



長岡市消防本部前にて撮影

水防工法訓練



広瀬分署会場での訓練風景

平成21年7月9日(木)、市内3会場に分かれて平成21年度水防工法訓練を実施いたしました。

この訓練は近年多発している全国的な水害・集中豪雨(ゲリラ豪雨)、市街地における水防活動を、適切かつ迅速に対処することを目的とし実施されるものです。暑い中でしたが、たくさんの消防団員の参加があり、活発に訓練が行われました。訓練内容としては土嚢作りに始まり、積み土嚢工法、積載はしご利用工法、マンホール噴出防止工法などを実施し、とても充実した訓練となりました。

七夕まつり

平成21年8月8日(土)・9日(日)の両日、狭山市の夏の風物詩「七夕まつり」が盛大に開催されました。例年通り、巡回・定点警備や花火警戒を行ってお祭りの運営に協力しましたが、今年度は消防団で七夕飾り(右側写真)を作ってみました。また、当日は、社会福祉協議会の駐車場をお借りして消友会の皆様からの寄贈された「子供用防火服」を用意して、子供達の防火意識の向上と、ご家族の皆様へ消防団の活動を理解していただく良い機会となりました。防火服を着た子供達は消防団車両に搭乗して写真撮影をしたり、消防車両前で写真撮影をしたりとても楽しい時間を過ごしたようでした。



初めての七夕まつり飾り(天神様前)

防 災 訓 練



入曽地区 中原自治会会場にて

平成21年8月29日(土) 市内57箇所において防災訓練が行われました。当日は三角巾を用いた応急処置訓練や、毛布などで担架を作る搬送訓練を実施しました。参加された市民の皆さんは、「初めて知った。家でももう一度やってみます。」といったようなご意見や「このような場合はどうしたら良いですか？」など、応急処置や搬送に対して熱心に質問する場面も見られました。

また、同時進行で狭山市消防団、狭山市消防本部、所沢市消防本部、入間市消防本部で連携して小学校での火災を想定した救助訓練も実施されました。訓練の最後には埼玉県の防災ヘリが要救助者を救助し、会場から飛び去ると参加者からの拍手が起こりました。また、レスキューによる屋上からの緊急脱出も好評でした。

ゴルフコンペ

毎年恒例の狭山市消防団119会ゴルフ大会が平成21年9月18日(金)飯能グリーンカントリークラブにて開催されました。当日は天候にも恵まれ絶好のゴルフ日和になり参加人数70名と多数の方々の参加をいただくことができました。団体の部と個人の部とそれぞれ順位を決め団体の部では、第3分団がみごと優勝し、個人の部においては第3分団、牛窪博文さんが優勝を獲りました。何事もなく無事にゴルフ大会及び懇親会も終了し、団員相互の交流をより一層深めることが出来ました。



操 法 大 会



小型ポンプの部 優勝 第4分団1部2班

平成21年10月18日(日)、上奥富運動公園内仮設訓練場において、小型動力ポンプ(8隊)・消防ポンプ自動車(13隊)合計21隊が参加し、日頃の訓練の成果を競う「第9回狭山市消防団ポンプ操法大会」が実施されました。ポンプ操法とは、実際の火災現場での消火活動の基本となる動作です。現場に到着し、水利を確保。ホースを結合、火点に向けて放水を開始。この一連の動作を各隊が指揮者の指示の下、安全かつ迅速に、そして規律や敏捷性、タイムなどを競い合います。今回の大会では、各隊が接戦を演じる中、小型動力ポンプ・消防ポンプ自動車ともに、第4分団が優秀な成績を収めました。

～優勝隊指揮者 横山裕一くんの言葉～

私にとって操法大会は実際の火災現場そのものだと思います。正確・安全・迅速に、緊張感の中、普段の訓練通りに行動する。なかなか訓練や経験を積まないと出来ない事だと思います。私が入団した時には、入団式の日に大きな火災があり、出動しましたが、先輩たちに言われるがままで、とても慌ててしまったのを覚えています。しかし、厳しい訓練を経て、大会を終えると、小さな自信が芽生えました。そして、やっと消防団員の仲間入りができたかと、感じる事ができました。それと同時に、操法大会は消防団員として、しっかりとした行動がとれるようになる良い訓練の一つだと思います。それぞれが仕事を持ち、忙しい日々ですが、今の私たちが在るのは深い絆があってこそだと、誇りを持って言えます。



ポンプ車の部 優勝 第4分団1部

幼 年 消 防 パ レード



11月の火災予防週間の一環として市内の幼稚園や保育園などで「幼年消防パレード」が実施されました。

当日は、父兄等が見守る中、子供たちは拍子木を敲いたり、消防車の山車を引き回したりで地域の人々へ火災予防を呼びかけました。

子供達の警備についての消防団員は、「例年の行事だが、子供達の大きな掛け声での呼び掛けは、地元住民にとって大変微笑ましくまた、火災予防の呼びかけとしての効果は大きいのでは。」と語っていました。



特 別 点 検

平成21年11月28日に、平成21年度狭山市消防団特別点検が柏原運動公園で行われました。

この点検は、消防団の人員・礼式・操法などを、点検者である仲川市長が点検し、消防活動に万全を期するために実施されます。

点検当日は天候にも恵まれ、服装点検から一斉放水まで日頃の訓練の成果を披露しました。



特別点検 徒歩分列行進

出 初 式



出初式 車両分列行進

部の演奏をはさんで、埼玉県防災航空隊による中高層建物からの救出訓練、消防団・自主防災組織15台による一斉放水訓練などが行われました。また、七夕まつりで好評だった子供用防火服を使った写真撮影コーナー(写真右)なども設け、家族連れが楽しめるイベントとなりました。毎年出初式を見に来ているという男性のお話を聞くと「今年は例年になく人手が多かった。イベント的にも老若男女問わず楽しめるイベントが増えたようだ。」と大変好評でした。

平成22年1月10日(日)に上奥富運動公園内において「狭山市消防出初式」が盛大に挙行されました。当日は、好天の中、消防職員、消防団員をはじめ、女性消防協力隊の皆さんや幼年消防クラブのかわいい園児たちも参加しとても活気ある式典となりました。

式典の部は市長の訓示、永年勤続消防団員家族表彰などが行われ、次の展示の部として徒歩分列行進、救助隊の演技、車両分列行進などが威風堂々行われました。また、特別演技として狭山市立西中学校の吹奏楽



出初式 消防フェア会場にて



文化財防火デー

平成22年1月23日(土)文化財防火デーにあたり、市内文化財の火災等からの保護を目的に、北入曽にある野々宮神社境内にて消火活動訓練を実施しました。

当日は、好天の中地元住民の方にもご参加頂き、バケツリレー、119番通報訓練、消火器の取扱訓練、消防団・消防署を含めた消火訓練などが実施されました。神社仏閣などの文化財の中には、持ち出し可能な文化財等もあり、神主さんによる持ち出し訓練なども同時に行われ、地元住民を含め郷土の財産を守る訓練として内容の濃いものとなりました。



野々宮神社境内

消防団員を募集しています



狭山市消防団の条例定数は333名となっています。しかし、現在の各分団の合計団員数は289名であり、団本部3名を含めても41名の団員が欠員している状況です。

消防団員は普段は自分の仕事を持ちながらいざ有事の際は消防職員とともに火災等の災害へ出動します。また、防災訓練や水防訓練、出初式や特別点検、歳末警戒など防災に対する意識の向上やいざという時のために自主的に訓練等を行っています。いろいろ大変なことはありま

すが、やりがいもあり、信頼できる仲間がたくさん出来る仕事です。「大切な家族」を守るため、ともに素敵な汗を流しませんか！

お問い合わせは、狭山市消防本部消防総務課（電話：04-2953-7112）迄ご連絡ください。

各分団の担当地区ならびに現団員数



分団名(色で地区を表示)	団員数
担当地区名	
1分団	41名
入間川、富士見、狭山台地区	
2分団	34名
入間川、鶴ノ木地区	
3分団	40名
入曽、水野地区	
4分団	69名
堀兼、東三ツ木地区	
5分団	47名
奥富、柏原新田の一部、新狭山1・2丁目	
6分団	27名
柏原地区	
7分団	31名
広瀬、笹井地区	

付けていますか？住宅用火災警報器

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、狹山市火災予防条例で設置・維持の基準が定められました。

設置をしなくてはならない人は、住宅の所有者、管理者または占有者です。

住宅用火災警報器の設置を義務付けたことで、消防職員・消防団員を装った訪問販売が予想されます。悪質な訪問販売には十分な注意をしてください。

住宅用火災警報器には煙を感知して火災の発生を知らせる「煙式」と、熱を感知して火災の発生を知らせる「熱式」の2種類があります。それぞれ、壁にかけるタイプと天井に設置するタイプがあります。住宅用火災警報器は、消防用設備取扱店やホームセンター、家電量販店などでも購入できます。詳しい情報は、最寄りの消防署、消防分署まで問い合わせてください。また、感度やブザーの音量などが省令などの基準に合格したNSマーク（日本消防検定協会の鑑定合格証）付きの住宅用火災警報器を購入の目安にしてください。



壁取り付け式



天井取り付け式



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント ～ 3つの習慣・4つの対策～

- <習慣>
- ・寝タバコは、絶対やめる！
 - ・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する！
 - ・ガスコンロなどのそばを離れる際は、必ず火を消す！
- <対策>
- ・逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する！
 - ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために**防災品**を使用する！
 - ・火災を小さいうちに消すために**住宅用消火器**等を設置する！
 - ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために**隣近所の協力体制**をつくる！

編集後記

	この広報誌の作成にあたり私が最も感じたもの。それは消防団の仲間とは、なんと素晴らしいものかという事。 広報委員リーダー 岩城利治	広報誌編集にあたり、委員の方にはご苦勞をかけましたが、大変良いものが出来たと思います。 広報委員サブリーダー 粕谷紀仁
初の消防団広報誌の編集チームに参加でき、よいメンバーと仕事をさせて頂き、楽しかったです。 1分団広報委員 石川岳彦	発行に際し、写真撮影や記事編集など大変でしたが多くの市民の方に見て頂き、消防署と消防団の違いを知ってもらい、団員の活動にご理解とご協力をお願い致します。 2分団広報委員 立川信幸	初めての広報誌に携わり、大変でしたが楽しく出来ました。皆さんお疲れ様でした。 3分団広報委員 清水芳則
広報担当の一員として取材編集に携わる中で、色々な事を学び、そして仲間達と出会い貴重な経験をする事が出来ました。 4分団広報委員 奥富孝裕	広報担当になったことで、他の分団の方々とたくさんの交流が持てて、とても有意義な1年間でした。 5分団広報委員 栗原大輔	
この広報誌をご覧頂き、市民生活を守る熱血消防団をご理解頂ければ幸いです。 6分団広報委員 高野卓真	祝！ 広報誌無事発行！！ 打ち上げ大ブレイクの予感… ありがとうございました。 7分団広報委員 野村浩之	